生冠中学校

令和5年1月発行

図書だより

睦月 1月

～お正月～

2023

正月は，新しい一年の幸せや豊作をもたらす「年神様」をお迎えする大事な行事として，昔から大切に祝われてきました。正月の「正す」という言葉には「改めなおす」「初め」などの意味があります。みなさんも今年の抱負や目標を立てたと思います。“１月は行く，２月は逃げる，３月は去る”というように３学期はあっという間に過ぎていきます。特に３年生のみなさんは，目前に迫った受験で緊張感が漂って来ることでしょう。勉強の合間の息抜きに図書室で読書をしてみませんか。

１２月１２日学芸部と寺地先生による「読み聞かせ」を行い

１年生

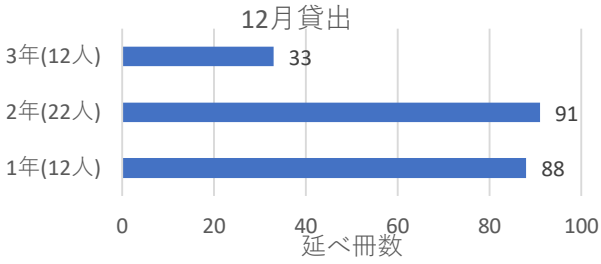
「赤ちゃんゾウのかみなりぼう」

2年生

「いのちをいただく

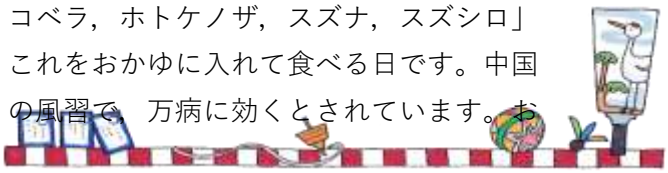
3年生

「絵本落語　しばはま」



１月のこよみから　七草　　１月７日

春の七草「セリ，ナズナ，ゴギョウ，ハコベラ，ホトケノザ，スズナ，スズシロ」これをおかゆに入れて食べる日です。中国の風習で，万病に効くとされています。お



新刊紹介

読み応えのある新刊です。手に取って見てください

出会いなおし　　森絵都　著

過ぎていく時間の中で，再び「出会いなおし」していく人々の物語。人生の大切な時間を鮮やかに，そして深く描く短編集です。身近な人との絆を見つめなおしたくなるような優しさと確かな生の重みに満ちた作品を楽しめます。

クスノキの番人　　東野圭吾　著

その木に祈れば願いが叶うと言われるクスノキ。不当な理由で職場を解雇され，その腹いせに罪を犯し逮捕されてしまった玲斗。釈放を条件に叔母から命令されたのは，「クスノキの番人」であった。その番人を任された青年とクスノキのもとへ祈念に訪れる人々の織りなす物語。

琥珀の夏　　辻村深月　著

大人になる途中で私たちが取りこぼし，忘れてしまったものはどうなるんだろう。封じられた時間のなかに取り残されたあの子は，どこへ行ってしまったんだろう。30年前の記憶の扉が開き，幼い日の友情と罪があふれだす。圧巻の最終章に涙が込み上げる，辻村深月の新たなる代表作。